

令和7年7月10日

事業報告

講座名	令和7年度やまぐちキッズスクール 第2回
日時・場所	7月5日（土）YMfg維新セミナーパーク
参加者数	参加者：19組51人（子ども28人、大人23人） 学生スタッフ：14名

1 概要

本事業は、県内の4歳～小学3年生およびその保護者を対象とする全3回の体験学習事業である。下記を目的とし、7月5日に第2回を実施した。なお本事業には県内の大学生が学生スタッフとして参加し、子どもの活動をサポートする。

<目的>

生命や自然を大切にする心や好奇心、探究心や創造力を高めるきっかけにするとともに、興味関心の共有・表現を通して、他者を理解し、互いを尊重し合う気持ちを育む。

（1）10：00～11：00 アイスブレイク（講師：山口大学教育学部講師 幼児教育アドバイザー 青山 翔 氏）

初めの1時間は、アイスブレイクとして、山口大学教育学部講師で幼児教育アドバイザーの青山翔氏をお招きして、「自宅でできる親子運動あそび」（以下運動あそび）を教わった。運動あそびとは、体を使った簡単な遊びで、例えば、親が膝を曲げたところに子供が立ち、足を支えてもらいながら手を広げて飛行機になりきる「ひこうき」や、親が高いところや低いところなど、いろいろな位置に手のひらを差し出し、そこに子供がタッチする「タッチ&タッチ」など、親子でたくさんスキンシップをする様々な遊びがあった。親子ともにとても楽しんでいる様子が見られ、親子の絆が深まる大変有意義な時間となった。

（2）11：10～ 15：00 講師：環境まなび研究所

休憩をはさんで11：10からは、「廃木材で秘密基地づくり」を行った。「廃木材」とは、かまぼこ板として使われるために切られたが、節があったり欠けたりしていて使えなかったもので、それをそのまま捨てるのはもったいないということで、まなび研究所が積み木として何度も活用しながら、子供たちに環境問題について教えている。

今回は1グループに大学生4人程度がついて、それぞれのグループに1つの秘密基地を作った。1つの秘密基地に300枚以上のかまぼこ板を1枚ずつ地道に積み重ねて作っていった。保護者もその間、保護者だけで1つの秘密基地を作った。作業中は、役割を決めたり、声を掛け合ったりしな

がら、子供たちなりにルールを決めて協力し合って作業を進めていた。保護者も熱中して作っていた。完成したら出入口用の穴を開け、そこからみんなで中に入って記念写真を撮った。最後は一気にくずし、みんなで協力してすべて箱に片づけた。

2 参加者の声

「子どもと身体を動かして遊べてリフレッシュできた」、「皆で協力してダイナミックなものを作ることはなかなかないので、とてもよい体験になった」などの意見があった。

3 写真

